

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

江戸より番目の宿  
 東海道五十三次  
 江戸川しながわ  
 江戸を出る旅人との別れを惜しんで見送る人と、江戸に入る旅人を出迎える入で、かつての品川宿はしながわにわかれていた。  
 江戸川駅から第一京浜国道沿いに歩き、八ッ橋をわたると、右側に八ッ山コミュニティ道路、そのあたりが品川宿の入り口にあたることから、五十三次の宿場名を刻んだ石柱がたてられている。



本軍の絵では街道のすぐ隣まで迫っていたこの山も、幕末に外国船の来航に備えて江戸砲台合場を築く際に削り取られ、明治に東海道線が敷設する際にまた削り取られた。こうして小さな丘になった後は、明岩から昭和にかけての政財界人の高級住宅地となり、三菱の岩崎一族、美術館などの邸宅が立ち並んだ。

東海道品川宿  
 お休み処  
 地蔵おこしに取り組んで、旧東海道品川宿を巡るまちづくり協議会が、品川と南品川の旧宿場筋に計八カ所を  
 設置してある。

品川本陣「聖蹟公園」の入口がある。ここは江戸時代品川三宿、北南、新の宿場の中央にあたり、参勤交代の大名などが泊まる本陣があった所である。

